

竜巻による損傷の防止に係る対応方針

対応方針の基本事項

- ヒアリングにおいては、話題となった事項の具体的な対応方針を明確にするとともに、作業者の理解を深め、共通認識の下に対応していくため、本資料に記載して共有する。なお、当日の振り返りにおいて方針を明確にできなかった事項についても、事後検討の上で方針を記載して提示する。
- 対応方針としては、コメントリストのような言われたことのみに対応する進め方ではなく、作業項目等の体系を整理し、類似の事項や関連する事項を集約して一貫性のある対応（適宜、関連事項への水平展開を図るなど）としてタスクを整理することとする。
- 対応方針の整理においては、作業の目的を明確にし、目的達成のための具体的な作業の方向性や実施事項、留意事項等について、段階的に実施するものはそのプロセスも含めて明確にする。
- 作業漏れを防ぐために個別具体的な事項を記載する場合には、煩雑にならないよう留意する。

※本タスクに関連する対応方針を示すが、共通 1 2 本文等の共通的な方針に反映が必要な事項については、他のタスクとの関係性の欄において共通 1 2 本文等のタスクと紐づける。

| No | 対応方針 | 対応予定日 | 他のタスクとの関係性 | ヒアリング |
|--|--|--------|--|---|
| 1. 共通 1 2 事前作業に係る対応方針（説明すべき事項の整理、DBとSAの関係整理、設計と評価の関係整理） | | | | |
| 1.1 設計説明分類間における共通項目の整理及び分類内の代表の整理 | | | | |
| ① | <p>○基本設計方針を踏まえた評価要求と構造設計等の設計項目の整理（添付 1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計方針を踏まえて「設計項目」を漏れなく抽出するとともに、設計説明分類毎の基本設計方針に記載された設計要求（説明すべき事項）を比較し、共通する要求事項を整理することを目的とする。 ➔8条竜巻の基本設計方針に対して、設計と直接関連しない「外竜巻00別紙 2」の要求種別を参考に冒頭宣言、定義、運用要求に係るものを判別したうえで、「外竜巻00別紙 2」を参照して基本設計方針に紐づく「主な設備」から、当該の基本設計方針と関係する設計説明分類を特定し、設計説明分類ごとに設計要求内容を記載する。 ・8条竜巻の基本設計方針の要求種別を踏まえ、設計項目（システム設計、構造設計、配置設計、評価）を設定する。 ➔基本設計方針の要求種別の設定にあたっては、外竜巻 0 0 別紙 2 記載の要求種別に拘ることなく、先行するMOX施設の記載内容を参照しつつ、機能要求を果たすために必要な設計項目（システム設計、構造設計、配置設計、評価）を抽出し、設計説明分類ごとに設計項目の設計要求内容を記載する。 ・また、評価条件、評価、対策設備における設計項目が重複する場合は、各基本設計方針で考慮すべき設計項目をすべて抽出した上で、重複説明がないように、どの基本設計方針で説明するかを明確化する。（設計項目の情報を飛ばす側と受取側を明記する） ・要求種別を冒頭宣言、定義としている基本設計方針において、他の基本設計方針が必要な前提条件は関係性を明確にする。 ・要求種別の設定においては、「外竜巻00別紙2」の要求種別を参考に設定するが、次の点に留意する。 ➔竜巻の基本設計方針で「構造強度評価を行い、構造健全性を維持する」と記載されている場合は要求種別を「評価要求」として整理されているが、評価を行うためには構造強度が確保できる構造設計が前提であるため、機能要求を果たすために必要な設計項目（システム設計、構造設計、配置設計、評価）を先行しているMOX施設の資料 2 の設計項目の分類分けを確認の上、抽出することとする。 | 10月17日 | <p>共通12に係る対応方針 (1.1④)</p> <p>再処理説明グループ 1 に 係る対応方針に係る対応 方針 (1.1①)</p> | <p>8月17日</p> <p>8月24日</p> <p>9月5日</p> <p>9月22日</p> <p>10月5日</p> |

| No | 対応方針 | 対応予定日 | 他のタスクとの関係性 | ヒアリング |
|----|---|-------|--|---|
| ② | <p>○DB/SAの類似となる設計方針の整理（添付2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SA設備の基本設計方針は、DB側の設計に準じた設計としており、竜巻に係るDB設備とSA設備で要求事項は同様であるため、SA設備もDB設備に合わせて説明することを目的として、SA基本設計方針のうち竜巻に関連する部分を抽出した上で竜巻に係るSA設備の要求事項を「DBと同じ要求事項」、「SAで追加となる要求事項」に整理する。 ・SA基本設計方針のうち竜巻に関連する部分の抽出にあたっては、「再処理説明グループ1に係る対応方針(1.1①)」において実施する。 ・竜巻に係るSA設備の要求事項等の整理については、次の通り実施する。 <p>➡「安全審査 整理資料 第33条 重大事故等対処設備 補足説明資料2-2 添付-1(令和2年7月13日R29)」資料を基に、SA設備の基本設計方針が抜けなくDBの第1章の基本設計（竜巻）に対応する形で、「多様性・位置的分散」、「環境条件等」及び「悪影響防止」の観点で紐づけ、SA設備の設計要求内容を記載する。</p> <p>➡設計要求内容を比較・分析することで、DB設備とSA設備の設計要求内容をまとめて説明できる範囲及びSA設備として差分説明が必要な設計要求内容を明らかにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SAの設計要求のうち、DBの説明との差分としての説明が必要であっても、DBとまとめて説明することが合理的かどうか確認する。 | 調整中 | <p>共通12に係る対応方針 (1.1⑤)</p> <p>再処理説明グループ1に係る対応方針に係る対応方針 (1.1①)</p> | <p>9月5日 9月22日 10月5日</p> |
| ③ | <p>○SAを含む構造設計等に係る説明の類型化、代表による説明に係る整理（添付3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計説明分類の設計項目の説明が合理的に整理出来ているか確認すると共に竜巻に係る説明事項を網羅的に説明するための代表並びに差分抽出することを目的とする。 ・共通して説明出来る説明項目を整理し、設計説明分類間の代表として説明する設計説明分類を選定する。 ・整理にあたっては、①、②項の作業結果に基づき、DB設備とSA設備の設計説明分類と基本設計方針の対応関係を整理し、同じ内容の説明項目を識別できるようにまとめる。 ・代表の選定にあたっては、より多くの説明が可能となる設計説明分類を選定する。 <p><共通する設計要求の整理></p> <p>➡①、②項の整理した設計説明分類と基本設計方針との関係の包絡関係を元に設計説明分類毎に係る基本設計方針を整理する。</p> <p>➡SA設備の設計のうち、DB設備の説明と重複しないものについて、SA設備に関する記載であることを識別ができるようにしたうえで、設計説明項目表に記載する。</p> <p><代表となる設計説明分類の整理></p> <p>➡一つの分類で多くの内容を説明できるよう多くの設計要求内容を受け取るものから代表を選定する。</p> | 調整中 | <p>共通12に係る対応方針 (1.1③)</p> | <p>8月17日 8月24日 9月5日 9月22日</p> |
| ④ | <p>○「解析・評価等」の具体の設備等の設計の整理</p> <p>共通12 本体側による方針を踏まえて決定する。</p> | — | <p>共通12に係る対応方針 (1.1⑥)</p> | — |
| ⑤ | <p>○その他（申請書、各条00、補足説明資料等設計に関する留意事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通12の作成内容を踏まえ、各条00に反映する。 | 別途検討 | — | — |